

# 11・22 W選挙

# 都構想と政争に明け暮れる 異常な維新政治にノー!



橋下知事からすでに8年。維新政治は住民ほったらかしで都構想と政争に明け暮れるばかり。この間府下では「維新政治ノー」の一点共闘が広がり、「反維新」の市長が次々誕生し住民本位の政治がすすんでいます。今度のW選挙でも府民の力で異常な維新政治を終わらせましょう。

## 都構想は終わったはず

「ラストチャンス」と32億円もの税金を使って強行した住民投票。「都構想ノー」の結果にもかかわらず、半年もたたないうちに再び「都構想」を選挙の争点にしました。これほど府民をバカにして民意を軽く扱うものはありません。



## ウソとペテンで 大阪沈没

まだ言うか

都構想は、大阪市を廃止し5つの特別区をつくれば「4000億円浮く」どころか、逆に680億円以上の新たなコストがかかることや、大阪市は権限と財源が吸い上げられ、住民サービスが低下することなど、次々とウソとペテンが明らかになり、住民投票で否決されたもの。この先も延々と議論し再び住民投票を行うなど正気の沙汰ではありません。

「二重行政」と言ってなくそうしているのは大切なものばかり!

大阪府		大阪府
府立急性期・総合医療センター	医療	住吉市民病院
障がい者交流促進センター	福祉	障がい者スポーツセンター
府立公衆衛生研究所	保健・環境	市立環境科学研究所
ドーンセンター	男女共同参画	クレオ大阪
マイドーム大阪	中小企業支援	産業創造館
府立中央図書館	文化	市立中央図書館
府立体育会館	スポーツ	市立中央体育館
府立大学	大学	市立大学

すでに信用保証協会が統合され融資窓口が縮小に

## オール大阪の力で 住民本位の政治が進む

オール大阪の力で8つの市で「反維新」の市長が誕生し、住民施策が前進しています。自治体は一党一派のものではなく住民みんなのもので、住民の声を聞くまともな市政・府政を私たちの手でつくりましょう。

- ◆堺市では国保料の6年連続引き下げ。中学校全学年でエアコン設置が実現。
- ◆岸和田市では公立幼稚園6園で3歳児保育を実施。
- ◆貝塚市では地域の医療を守り、充実させるため公立病院の存続を決定。
- ◆八尾市はオスプレイ訓練移転を明確に市長が反対。
- ◆豊中市は子どもの医療費助成を就学前から小学6年まで拡充。
- ◆寝屋川市では住宅耐震改修補助の充実を表明など。

府民により  
政治を

まっとうな  
市政を  
取り戻す

たかこ  
くりはら 貴子  
知事候補

「中小企業の経営者の声をしっかりとかみしめていただきたい」と要求。(府議会代表質問)

やなぎもと  
柳本 あきら  
市長候補

「地元企業を応援する公契約条例、地方創生型リフォーム条例、敬老パスの改善」などを表明。

## ● 明るい民主府政

発行/2015年10月27日 第804号 明るい民主大阪府政をつくる会  
〒530-0047 大阪市北区西天満3-1-27 レバンガ西天満 TEL.06-6365-5839 FAX.06-6365-5842  
「明るい民主大阪府政をつくる会」は次の見解を出しました。

〈大商連討議資料〉